

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	伊勢原市安全・安心できる公園の整備								
計画の期間	平成24年度 ～ 平成25年度 (2年間)		交付対象	神奈川県伊勢原市					
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢原市のスポーツ施設がある公園として、総合運動公園及び鈴川、市ノ坪、東富岡の各公園があり、スポーツの役割を担っていますが、供用開始後の時間経過により、施設等の老朽化がめだってきている。 このような状況下で、スポーツ施設利用者の安全・安心を図るために改修整備を目指す。 伊勢原市体育館は、地域防災計画の広域避難場所に指定されており避難者等の安全性を目指す。 市内の都市公園(遊具等)は、供用開始後の時間経過により老朽化が進んでいる。遊具の更新により利用者の安全・安心を目指す。 								
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化計画を策定する公園数を64公園に増加させる 安全で安心に利用できる運動施設を再整備し、利用者を320,000人に増加させる 								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値					
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H25末)			
	公園施設長寿命化計画を策定した公園数を計測する			60		64			
	公園施設長寿命化計画による遊具改修箇所			5箇所		21箇所			
	安全・安心対策緊急総合支援事業等により再整備する総合運動公園等のスポーツ施設の利用者を調査する			294,000人		320,000人			
全体事業費	合計 (A+B+C)	A	169百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制	みどり公園課	事後評価の実施時期	平成27年4月
		公表の方法	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業画) 上段 (計)

A1 基幹事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)		全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25		
A1-1-1	公園	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	伊勢原市公園施設長寿命化計画事業	総合運動公園 ほか3公園	伊勢原市			3	長寿命化対策
											3	
A1-A-1	公園	一般	伊勢原市	直接	-	伊勢原市安全・安心対策緊急総合支援対策	防災機能向上、スポーツ施設更新、遊具施設更新 21箇所	伊勢原市			166	総合支援対策
											166	
合計											169	
合計											169	

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)		全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25		
合計											0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)		全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25		
合計											0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
II 定量的指標の達成状況	指標①公園施設長寿命化策定率	64	目標値と実績値に 差が出た要因		
		64			
	指標②公園施設改修箇所	21箇所	目標値と実績値に 差が出た要因		
		21箇所			
	指標③総合運動公園等のスポーツ施設の利用者	320,000	目標値と実績値に 差が出た要因		総合運動公園の体育館天井の耐震改修を優先したことに伴い、スポーツ施設の更新（体育館床改修等）が次期計画での実施に移行したため。
		273,000			
			目標値と実績値に 差が出た要因		
	III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<p>今後も引き続き、老朽化した公園施設の長寿命化対策について、計画的、効率的に再構築に取り組み、事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化を図っていく。</p>					